



台北と交流スタート



遠隔教育実習で
9月2日、鹿屋女子高校で国立台北教育大学教育実習の開始式が行われました。これは、同大学との交流を通して市の魅力発信や遠隔教育実習などを行うもので、今後は同校のほか、市内小・中学校でも実施を予定しています。開会式に参加した柴垣咲良さん(2年生)は「異なる文化に触れ多くのことを学び、大学の皆さんと良い思い出をつくりたい」と英語で挨拶しました。

自分の言葉で平和への想いを発信



8月30日、リナシティかのやで「平和の花束2022」が開催されました。これは、児童生徒が平和や人権について考えるメッセージコンテスト。当日は応募のあった4,148点の中から入賞した作品への表彰や最優秀賞の朗読のほか、「NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会」の東川隆太郎代表理事による、戦跡から見た鹿屋基地などについての講演が行われました。

中秋節や月餅など 中国文化を知る



中秋節の月餅を作ろう!
9月10日、リナシティかのやで「中秋節の月餅を作ろう!」が開催されました。これは、中国文化への理解を図ろうと本市の国際交流員が講師となり行われたもの。中秋節とは、家族と一緒に月餅を食べながら月見をする中国の一大イベント。参加した8人は、日本で広く知られている広東式の月餅作りを体験するなど、中国の伝統文化を楽しんでいました。

身近に体験する 防火や消防を



住宅防火・消防フェスタ
9月3日、吾平振興会館で「住宅防火・消防フェスタ」が開催されました。これは、住宅用火災警報器の普及啓発や住宅防火モデル地区等の活性化を図ることを目的に、大隅肝属地区消防組合により行われたもの。当日は、株式会社小鹿酒造から150個の住宅用火災警報器が寄贈されたほか、大型化学高所放水車などの車両展示も行われ、参加者は防火等への意識を高めていました。

来年度開催される国体 ボート競技会場を清掃



9月11日、輝北ダム周辺の一斉清掃が行われました。当日は周辺町内会や鹿児島県ボート協会、市内高校ボート部など約100人が参加。除草やごみ拾い、流木の引き上げ作業のほか、国体のぼり旗の設置などを行いました。

日本語教育ボランティア の育成に取り組む



9月4日、リナシティかのやで日本語教室の模擬授業が実施されました。これは在留外国人をサポートする人材を育成するために、市がNPO法人マザリープロジェクトと協力して行ったもの。参加者は日本語指導の方法等を学びました。

外国人に対しての 接遇を学ぶ



9月2日、リナシティかのやで「鹿屋市ビジネス英会話講座」が開講されました。本市の国際交流員が講師を務め、英語を使った接客対応や電話でのやり取りなどを指導。参加者は実践的なビジネス英会話を学びました。